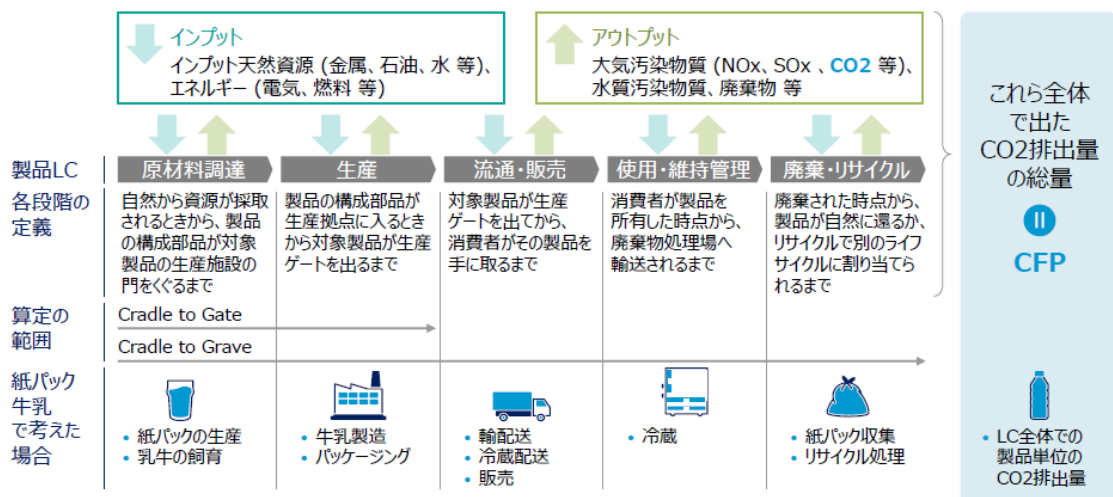


ライフサイクルアセスメント（LCA）／カーボンフットプリント（CFP）／Scope3 算定支援サービスのご紹介

2015年に採択されたパリ協定を契機に、世界は脱炭素に向けて急速に動き始めました。日本は2050年カーボンニュートラルを宣言し、カーボンプライシング等の新たな政策が導入されようとしています。また、TCFD等、国家を超えた気候変動情報開示の要求やその重要性も、年々高まっています。

企業がカーボンニュートラルを実現していくためには、製品・サービスや事業活動について、原料調達から廃棄までのライフサイクル/サプライチェーン全体における環境負荷を、定量的に把握することが第一歩となります。その上で、負荷の大きいもの、費用対効果の高いものから、対策を進めていくことが、有効です。

製品・サービスの環境負荷を定量化する手法として、長い歴史と実績を持つのが、ライフサイクルアセスメント（LCA）です。LCAは、環境から採取した資源の量と、環境へ排出した物質の量を定量化するもので、その実施方法は、国際標準化機構（ISO）の規格として、定められています。最近関心が非常に高まっている、カーボンフットプリント（CFP）やScope3も、LCAの考え方を基礎としたものです。



出典：経済産業省 サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリントの算定・検証等に関する検討会



○の数字はScope 3のカテゴリ

- Scope1**：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
- Scope2**：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3**：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

出典：環境省 グリーンサプライチェーンプラットフォーム

弊社では、以下のような LCA/CFP/Scope3 算定支援サービスをご提供いたします。

1) LCA/CFP/Scope3 算定の技術指導・技術支援

お客様がご自身で自社の製品、サービス、イベント等の LCA/CFP の算定を実施される場合、あるいは組織の Scope3 の算定を実施される場合に、規格やガイドラインを読むだけでは理解や判断が難しい以下のような事項に関し、豊富な経験と実績に基づいて、技術的なアドバイスをご提供いたします。

- 社内外のデータの収集方法
- データベースの選定・活用方法
- GHG の計算方法
- 計算結果の解釈・評価 等

2) LCA/CFP/Scope3 算定代行

専門性のある人材が不足しているなどの理由から、お客様ご自身で LCA/CFP/Scope3 の算定を行うことが困難な場合に、データ収集から LCA 報告書の作成までを、お客様に代わって実施いたします。

上記以外にも、社内研修、技術調査など、様々な活動を実施しておりますので、LCA/CFP/Scope3 に関するお困りごとがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社

担当：温暖化・エネルギー対策グループ 古屋 暁子（ふるや あきこ）

住所：〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDXビル 8階

電話：03-6328-0130

ファックス：03-5295-2051

URL：<http://www.eesol.co.jp/>

e-mail：a-furuya@eesol.co.jp



E&E Solutions Inc.